
開講科目名：証券市場論研究 (4単位)
開設年次：1年 2年
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻
担当者：野村 重明

《授業の概要》

近年、日本の証券市場は大きく変化した。1990年代初頭以降の株価の急落と長期低迷の下で、長らく日本の企業システムを特徴づけてきた株式の持合いが解消に向かう一方、証券市場、ことに株式市場の機能強化と活性化を図るため一連の証券市場改革が行われたからである。本講義では、戦後日本の証券市場の変遷をたどった後、現代の金融・証券市場を理解するカギとなる金融の大きな流れー証券化、デリバティブーについて説明する。

- 1 金融市場と証券市場
 - (1) 金融市場
 - (2) 銀行と証券会社
- 2 戦後日本の証券市場
 - (1) 高度成長期の金融と証券
 - (2) 証券市場の構造変化
 - (3) バブルと証券市場
 - (4) 平成不況下の証券市場改革
- 3 証券化
 - (1) アメリカの証券化
 - (2) 日本の証券化
- 4 デリバティブ
 - (1) デリバティブとは何か
 - (2) スワップ
 - (3) 先物
 - (4) オプション
 - (5) クレジット・デフォルト・スワップ

【評価方法】

レポートの内容および出席状況により評価する。

《テキスト》

なし

《参考書》

講義の中で紹介する。